

平成28年度 第1回ジュニア・市政モニターアンケート

デートDV・男女共同参画・薬物乱用防止について

- (1) 対 象 ジュニア・市政モニター 462人
- (2) 回答者数 223人(回答率48.3%)
- (3) 実施期間 平成28年7月1日から7月20日まで
- (4) 目 的 相模原市では、家庭や職場、地域などあらゆる場で性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現をめざす取り組みや、薬物乱用防止啓発活動など、さまざまな事業を行っています。
- 今回、デートDV・男女共同参画・薬物乱用防止について相模原市の将来を担っていただく皆さんの思いや実態を知り、今後の参考とするため、アンケートを実施させていただきました。
- アンケートの結果は相模原市のデートDV防止・男女共同参画社会実現・薬物乱用防止に向けた取り組みを検討するために参考とさせていただきます。

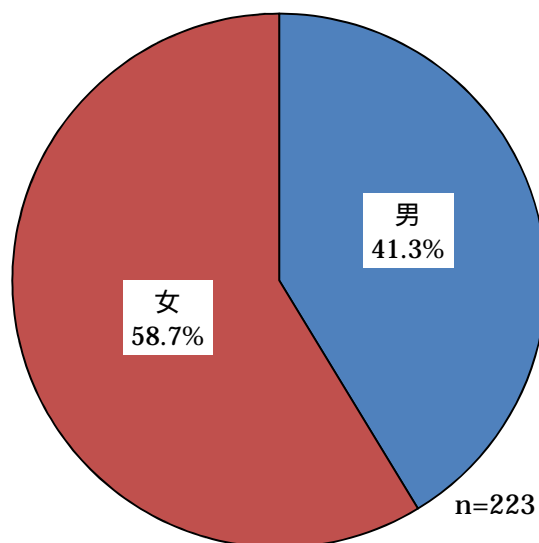
表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

【基本的項目についてお聞きします】

【問1】あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1. 男	2. 女
------	------

選択肢	回答数	回答分布
1	92	41.3%
2	131	58.7%
合計	223	100.0%

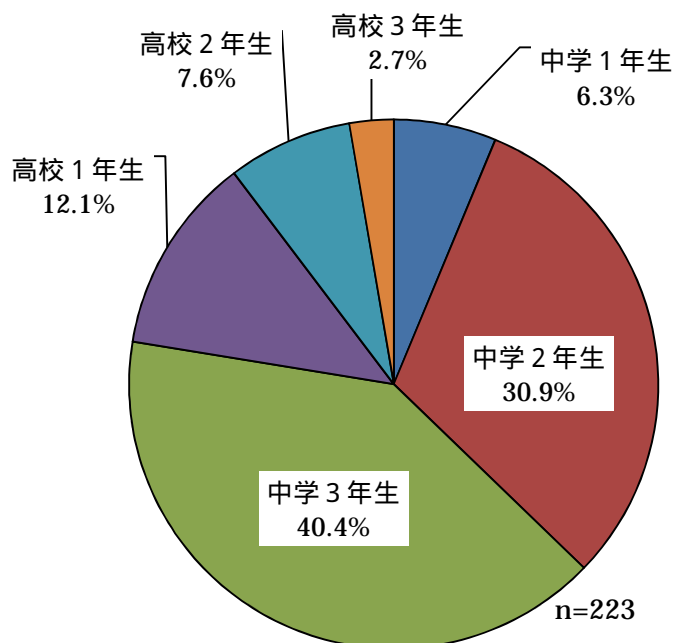


回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】あなたの学年をお答えください。(回答は1つ)

1. 中学1年生	2. 中学2年生	3. 中学3年生
4. 高校1年生	5. 高校2年生	6. 高校3年生

選択肢	回答数	回答分布
1	14	6.3%
2	69	30.9%
3	90	40.4%
4	27	12.1%
5	17	7.6%
6	6	2.7%
合計	223	100.0%

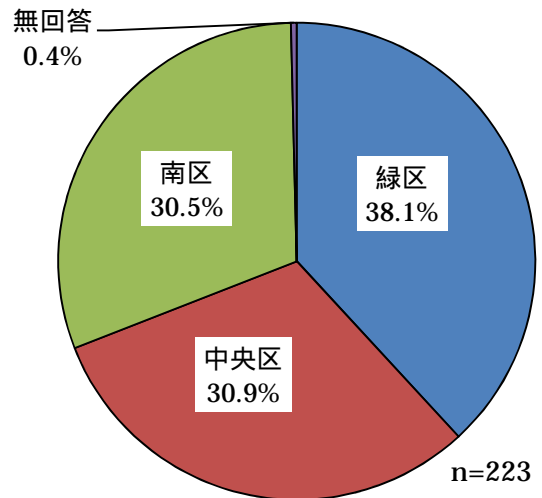


回答された方の学年層は以上のとおりです。

【問3】あなたのお住まいの地区をお答えください。(回答は1つ)

1. 緑区	2. 中央区	3. 南区
-------	--------	-------

選択肢	回答数	回答分布
1	85	38.1%
2	69	30.9%
3	68	30.5%
無回答	1	0.4%
合計	223	100.0%



回答された方のお住まいの区は以上のとおりです。

【デートDVについてお聞きします】

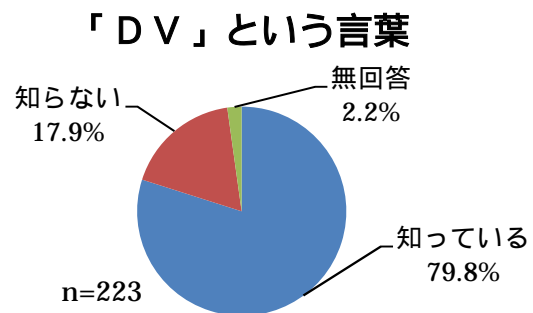
【問4】あなたは「DV」「デートDV」という言葉やその内容を知っていますか。(各項目1つ)

(1=知っている、2=知らない)

質問項目	回答欄	
	1	2
1. 「DV」という言葉	1	2
2. 「DV」の内容	1	2
3. 「デートDV」という言葉	1	2
4. 「デートDV」の内容	1	2

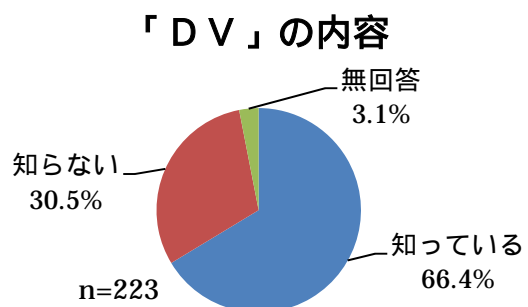
問4-1

選択肢	回答数	回答分布
1	178	79.8%
2	40	17.9%
無回答	5	2.2%
合計	223	100%



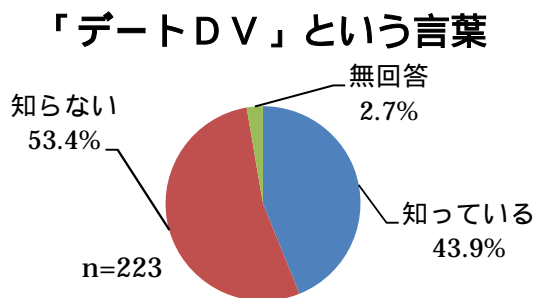
問4-2

選択肢	回答数	回答分布
1	148	66.4%
2	68	30.5%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%



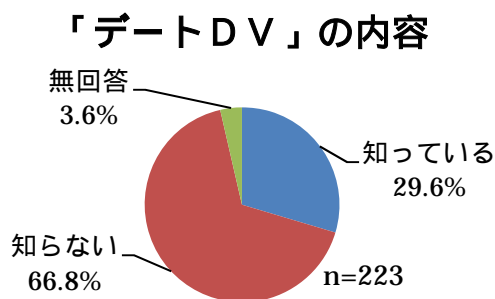
問4 - 3

選択肢	回答数	回答分布
1	98	43.9%
2	119	53.4%
無回答	6	2.7%
合計	223	100%



問4 - 4

選択肢	回答数	回答分布
1	66	29.6%
2	149	66.8%
無回答	8	3.6%
合計	223	100%



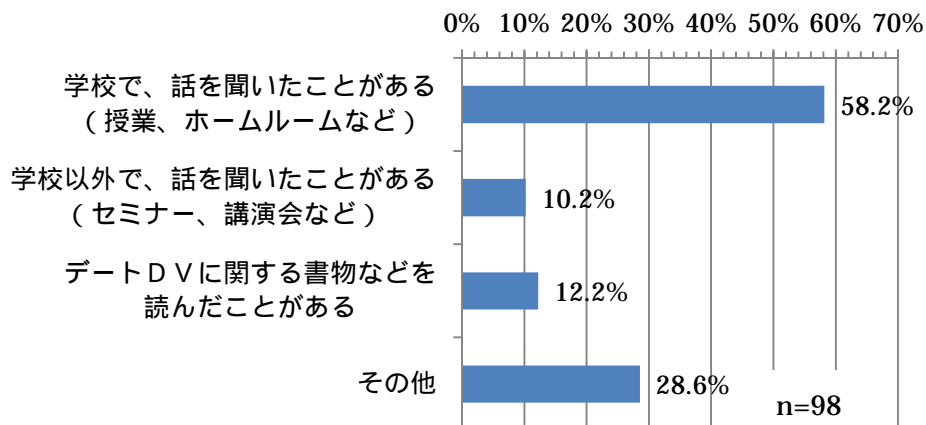
「DV」という言葉・内容については、「知っている」は、「知らない」を大きく上回っていますが、「デートDV」については、「知らない」人が多いという結果になりました。

《問4の、質問項目「3」「4」で「1.知っている」とお答えの方へ》

【問5】『交際相手からの暴力（いわゆる「デートDV」）』について、どこで知りましたか。
（複数回答可）

1. 学校で、話を聞いたことがある（授業、ホームルームなど）
2. 学校以外で、話を聞いたことがある（セミナー、講演会など）
3. デートDVに関する書物などを読んだことがある
4. その他（ ）

選択肢	回答数	回答分布
1	57	58.2%
2	10	10.2%
3	12	12.2%
4	28	28.6%



その他の回答では、「テレビのニュース」「インターネット」「ポスター」がありました。

【問6】あなたは、次のようなことが交際相手との間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。

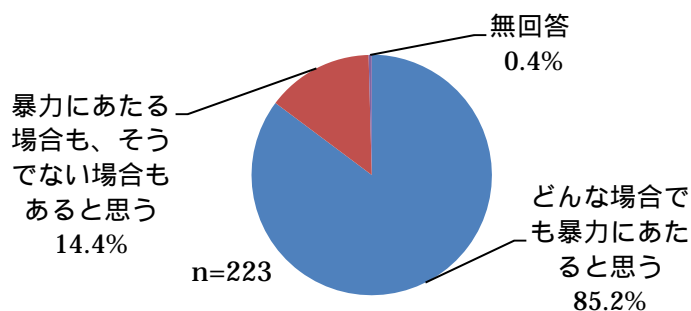
(1=どんな場合でも暴力にあたると思う、2=暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う、3=暴力にあたるとは思わない)(各項目1つ)

質問項目	回答欄		
1. 平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1	2	3
2. なぐるふりをして、おどす	1	2	3
3. 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
4. 人前でバカにしたり、ののしったりする	1	2	3
5. 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
6. 携帯電話の着信・発信履歴やメールのチェックをする	1	2	3
7. LINE や Facebook などの SNS (ソーシャルネットワークサービス) を執拗に監視したり制限したりする	1	2	3
8. 他の異性との会話を許さない	1	2	3
9. 常に自分の行動を報告させるように命じる	1	2	3
10. デート代やお金を無理やり出させる	1	2	3

平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなぐる

問6-1

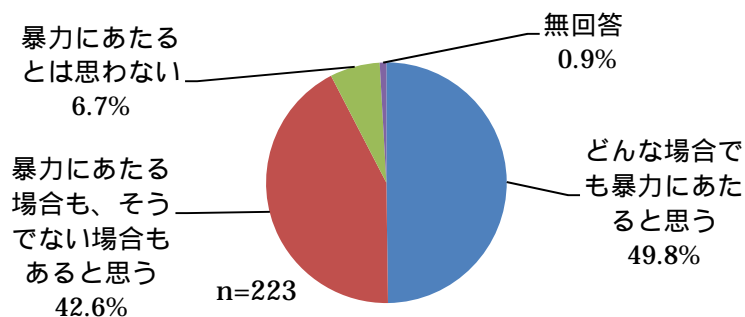
選択肢	回答数	回答分布
1	190	85.2%
2	32	14.4%
3	0	0.0%
無回答	1	0.4%
合計	223	100%



問6-2

選択肢	回答数	回答分布
1	111	49.8%
2	95	42.6%
3	15	6.7%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%

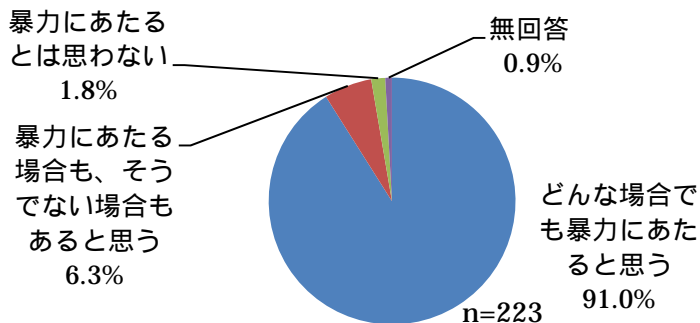
なぐるふりをして、おどす



問 6 - 3

選択肢	回答数	回答分布
1	203	91.0%
2	14	6.3%
3	4	1.8%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%

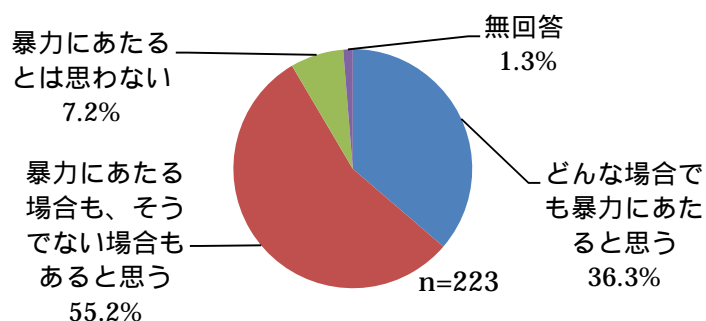
刃物などを突きつけて、おどす



問 6 - 4

選択肢	回答数	回答分布
1	81	36.3%
2	123	55.2%
3	16	7.2%
無回答	3	1.3%
合計	223	100%

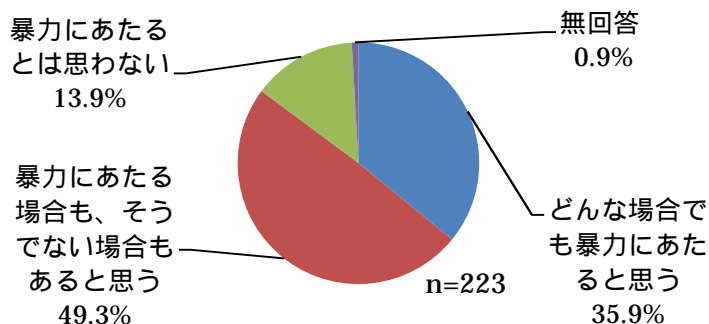
人前でバカにしたり、ののしったりする



問 6 - 5

選択肢	回答数	回答分布
1	80	35.9%
2	110	49.3%
3	31	13.9%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%

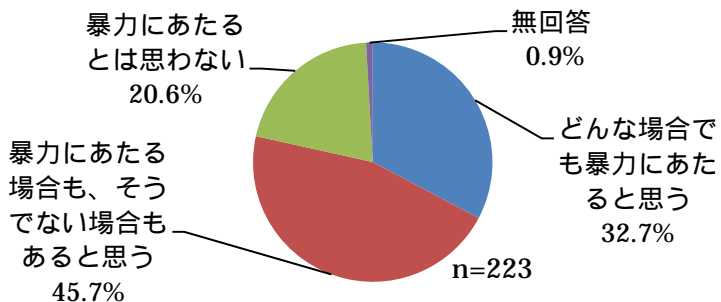
何を言っても長時間無視し続ける



問 6 - 6

選択肢	回答数	回答分布
1	73	32.7%
2	102	45.7%
3	46	20.6%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%

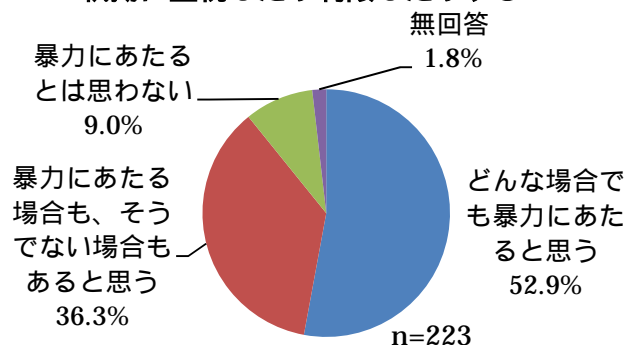
携帯電話の着信・発信履歴やメールのチェックをする



LINEやFacebookなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）を
執拗に監視したり制限したりする

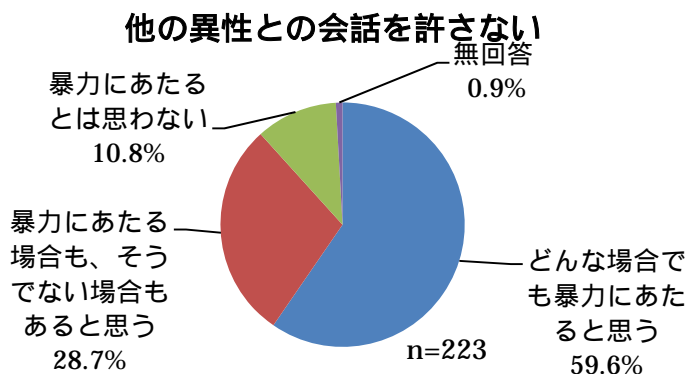
問 6 - 7

選択肢	回答数	回答分布
1	118	52.9%
2	81	36.3%
3	20	9.0%
無回答	4	1.8%
合計	223	100%



問 6 - 8

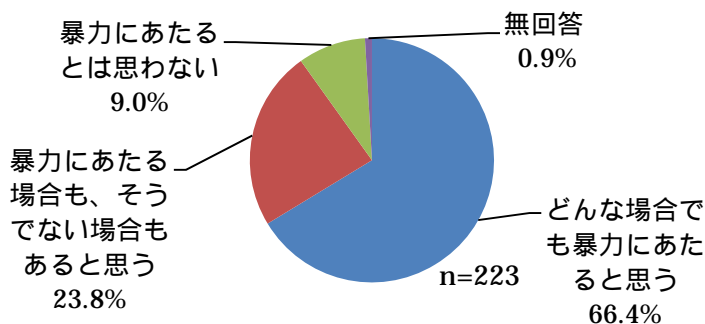
選択肢	回答数	回答分布
1	133	59.6%
2	64	28.7%
3	24	10.8%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%



問 6 - 9

選択肢	回答数	回答分布
1	148	66.4%
2	53	23.8%
3	20	9.0%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%

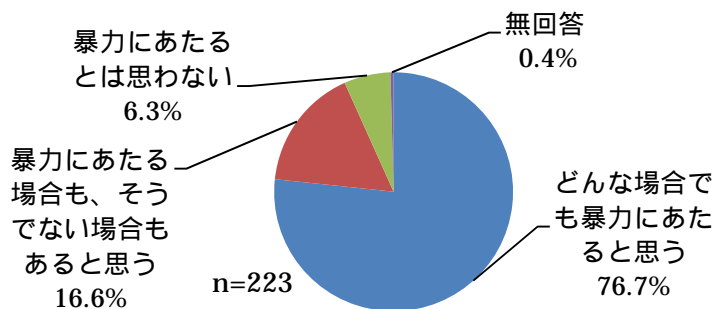
常に自分の行動を報告させるように命じる



問 6 - 1 0

選択肢	回答数	回答分布
1	171	76.7%
2	37	16.6%
3	14	6.3%
無回答	1	0.4%
合計	223	100%

デート代やお金を無理やり出させる

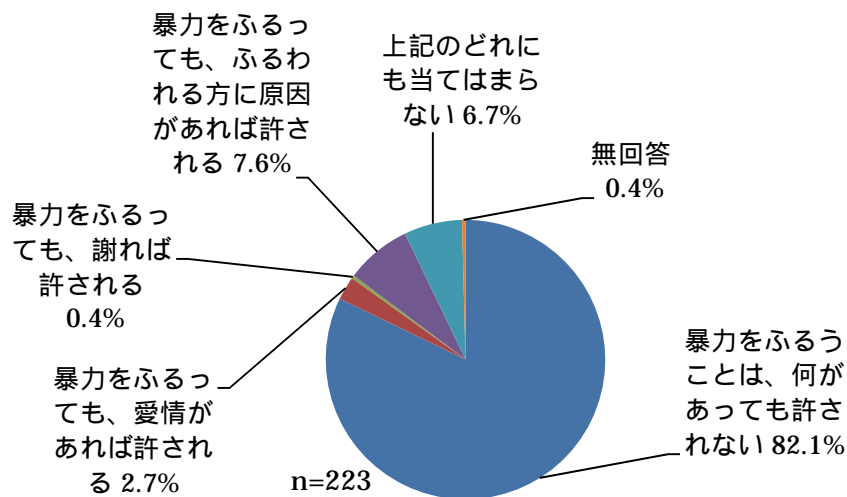


「人前でバカにしたり、ののしったりする」や「何を言っても長時間無視し続ける」など、言葉や態度のみの場合は、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が多い結果となりました。

【問7】 次の項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（回答は1つ）

- 1．暴力をふるうことは、何があっても許されない
- 2．暴力をふるっても、愛情があれば許される
- 3．暴力をふるっても、謝れば許される
- 4．暴力をふるっても、ふるわれる方に原因があれば許される
- 5．上記のどれにも当てはまらない

選択肢	回答数	回答分布
1	183	82.1%
2	6	2.7%
3	1	0.4%
4	17	7.6%
5	15	6.7%
無回答	1	0.4%
合計	223	100%

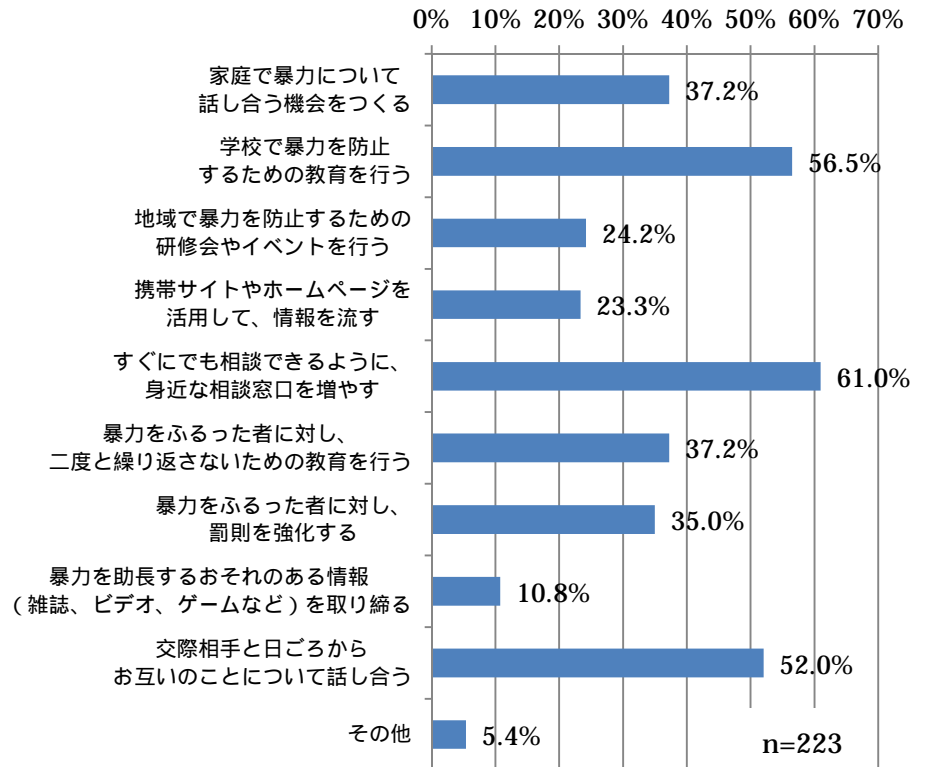


「暴力をふるうことは、何があっても許されない」が、80%を超える結果となりました。

【問8】 交際相手間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

- 1．家庭で暴力について話し合う機会をつくる
- 2．学校で暴力を防止するための教育を行う
- 3．地域で暴力を防止するための研修会やイベントを行う
- 4．携帯サイトやホームページを活用して、情報を流す
- 5．すぐにでも相談できるように、身近な相談窓口を増やす
- 6．暴力をふるった者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
- 7．暴力をふるった者に対し、罰則を強化する
- 8．暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、ビデオ、ゲームなど）を取り締る
- 9．交際相手と日ごろからお互いのことについて話し合う
- 10．その他（)

選択肢	回答数	回答分布
1	83	37.2%
2	126	56.5%
3	54	24.2%
4	52	23.3%
5	136	61.0%
6	83	37.2%
7	78	35.0%
8	24	10.8%
9	116	52.0%
10	12	5.4%

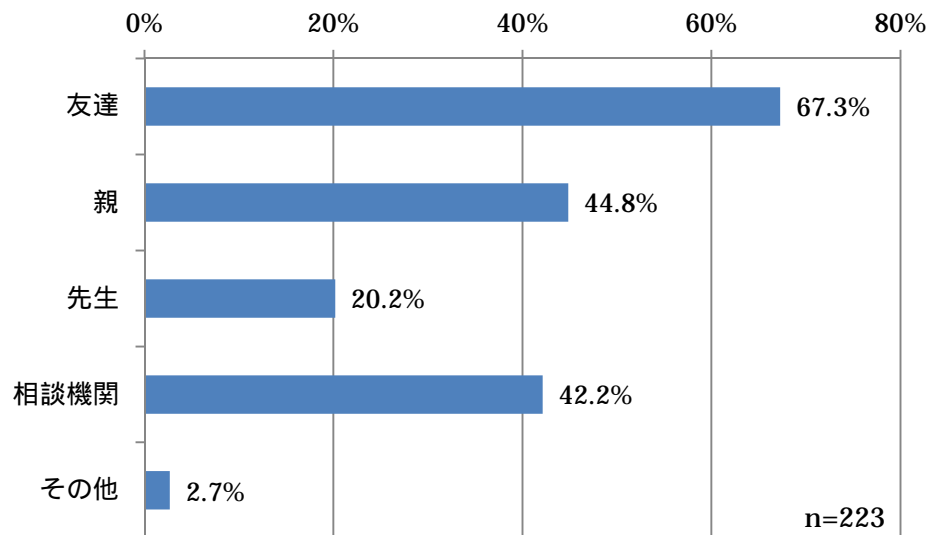


その他の回答では、「別れる」「交際相手をしっかり理解する」「交際相手のことをよく考えて話し、傷つけない方法を考える」などがありました。

【問9】交際相手からの暴力に関することを相談する場合、誰に相談したいですか。(複数回答可)

1. 友達	2. 親	3. 先生	4. 相談機関
5. その他 ()			

選択肢	回答数	回答分布
1	150	67.3%
2	100	44.8%
3	45	20.2%
4	94	42.2%
5	6	2.7%



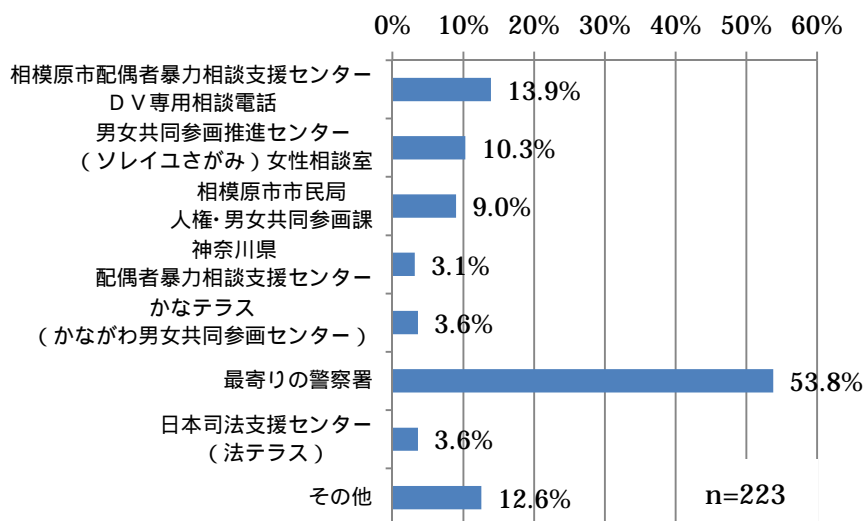
その他の回答では、「警察」「相談しない」「先輩」「兄弟姉妹」がありました。

【問10】交際相手からの暴力に関することを相談できる次の場所を、あなたは知っていますか。

(複数回答可)

1. 相模原市配偶者暴力相談支援センター DV専用相談電話
2. 男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)女性相談室
3. 相模原市市民局 人権・男女共同参画課
4. 神奈川県 配偶者暴力相談支援センター
5. かなテラス(かながわ男女共同参画センター)
6. 最寄りの警察署
7. 日本司法支援センター(法テラス)
8. その他()

選択肢	回答数	回答分布
1	31	13.9%
2	23	10.3%
3	20	9.0%
4	7	3.1%
5	8	3.6%
6	120	53.8%
7	8	3.6%
8	28	12.6%



その他の回答では、「知らない」「わからない」という回答が一番多く26件でした。

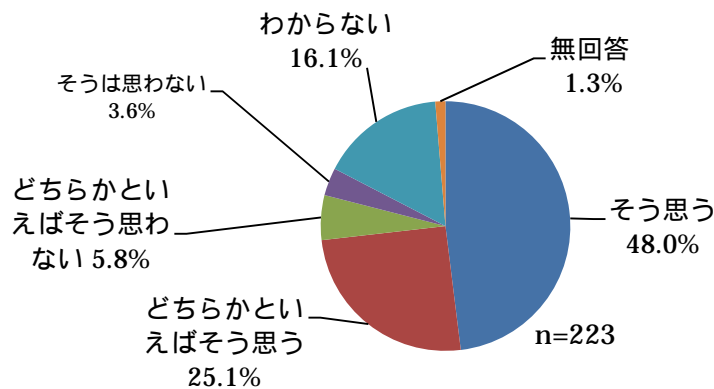
【男女共同参画についてお聞きします】

【問11】あなたは、(男性は)男に生まれて、(女性は)女に生まれて、良かったと思いますか。

(回答は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そうは思わない
5. わからない

選択肢	回答数	回答分布
1	107	48.0%
2	56	25.1%
3	13	5.8%
4	8	3.6%
5	36	16.1%
無回答	3	1.3%
合計	223	100%



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」合計で、73%を超えています。

【問12】あなたは、次あげる環境で男女は平等だと思いますか。(各項目1つ)

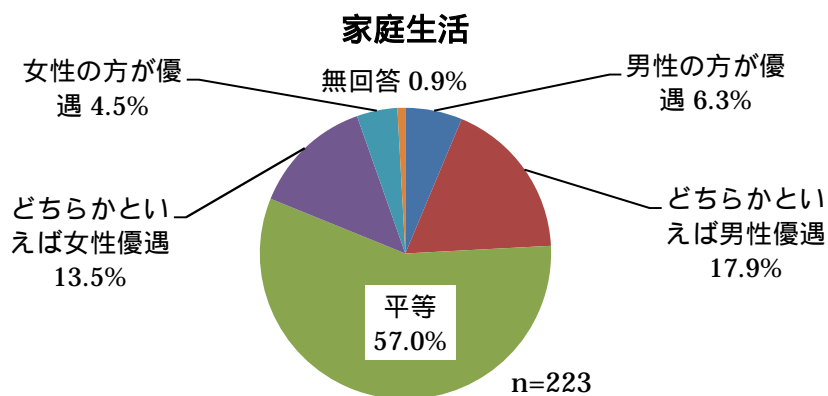
(1 = 男性の方が優遇、2 = どちらかといえば男性優遇、3 = 平等、

4 = どちらかといえば女性優遇、5 = 女性の方が優遇)

質問項目	回答欄				
	1	2	3	4	5
1. 家庭生活	1	2	3	4	5
2. 職業(アルバイト先など)	1	2	3	4	5
3. 学校生活	1	2	3	4	5

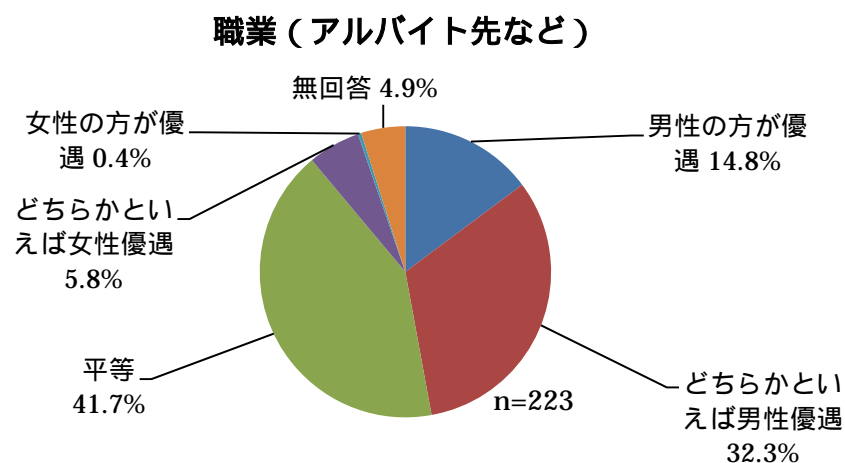
問12-1

選択肢	回答数	回答分布
1	14	6.3%
2	40	17.9%
3	127	57.0%
4	30	13.5%
5	10	4.5%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%



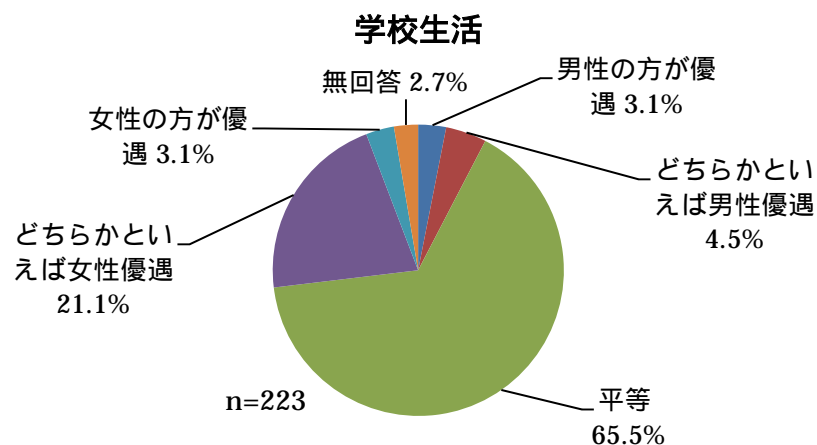
問12-2

選択肢	回答数	回答分布
1	33	14.8%
2	72	32.3%
3	93	41.7%
4	13	5.8%
5	1	0.4%
無回答	11	4.9%
合計	223	100%



問12-3

選択肢	回答数	回答分布
1	7	3.1%
2	10	4.5%
3	146	65.5%
4	47	21.1%
5	7	3.1%
無回答	6	2.7%
合計	223	100%

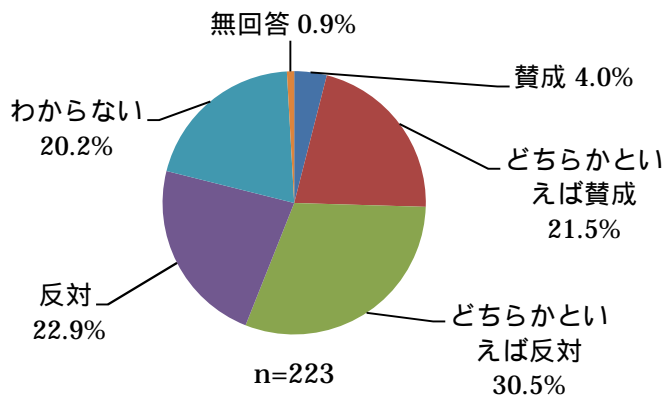


「平等」の回答が多いですが、「職業」では男性、「学校生活」では女性優遇の回答が多いです。

【問13】「男は仕事」「女は家庭」という考え方がありますが、どう思いますか。(回答は1つ)

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対
4. 反対 5. わからない

選択肢	回答数	回答分布
1	9	4.0%
2	48	21.5%
3	68	30.5%
4	51	22.9%
5	45	20.2%
無回答	2	0.9%
合計	223	100%



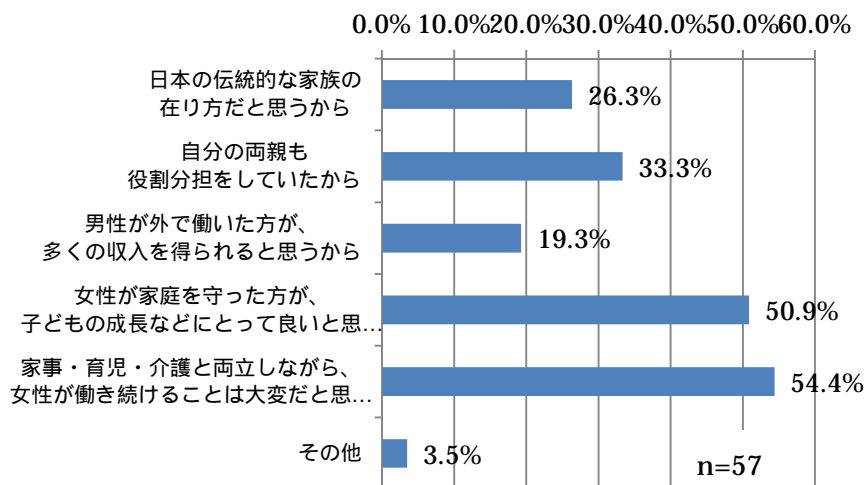
「反対」「どちらかといえば反対」の合計が50%を超え、「賛成」「どちらかといえば賛成」の25.5%を大きく上回っています。

《問13で、「1. 賛成」または「2. どちらかといえば賛成」とお答えの方へ》

【問13-1】あなたは、なぜそう思いましたか。(複数回答可)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
6. その他()

選択肢	回答数	回答分布
1	15	26.3%
2	19	33.3%
3	11	19.3%
4	29	50.9%
5	31	24.4%
6	2	3.5%



その他の回答では、「それぞれの家庭のやり方でいいと思う」「誰かがいると安心」がありました。

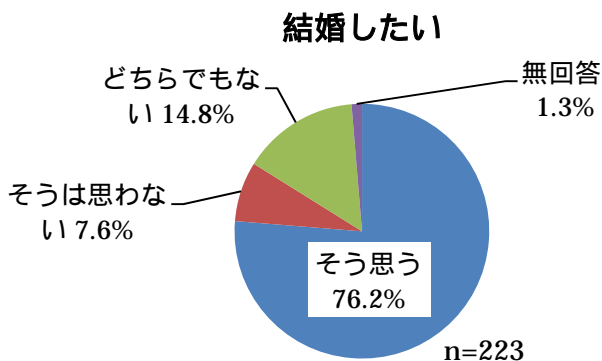
【問14】結婚について、あなたはどのように思いますか。(各項目1つ)

(1 = そう思う、2 = そうは思わない、3 = どちらでもない)

質問項目	回答欄		
	1	2	3
1. 結婚したい	1	2	3
2. 結婚してもうまくいかないときは離婚すればよい	1	2	3
3. 結婚しても夫婦が同じ性を名のらなくてもよい	1	2	3

問14-1

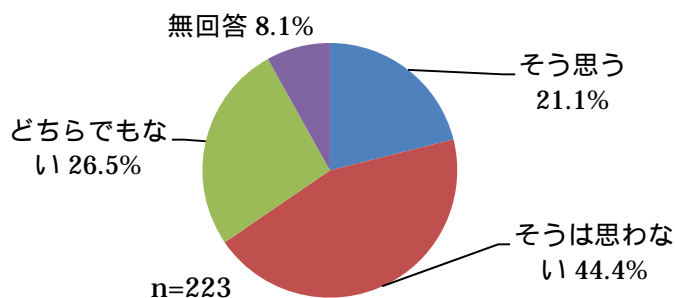
選択肢	回答数	回答分布
1	170	76.2%
2	17	7.6%
3	33	14.8%
無回答	6	1.3%
合計	223	100%



問14-2

選択肢	回答数	回答分布
1	47	21.1%
2	99	44.4%
3	59	26.5%
無回答	18	8.1%
合計	223	100%

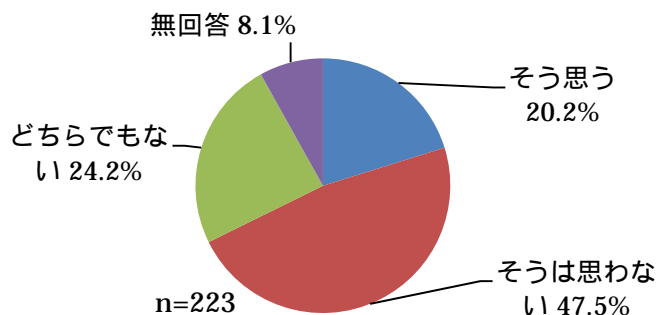
結婚してもうまくいかないときは離婚すればよい



問14-3

選択肢	回答数	回答分布
1	45	20.2%
2	106	47.5%
3	54	24.2%
無回答	18	8.1%
合計	223	100%

結婚しても夫婦が同じ性を名のらなくてもよい



「結婚したい」という回答が76.2%で、結婚への希望は高い結果となっています。これに対し「結婚してもうまくいかないときは離婚すればよい」は、「そう思う」が21.1%、「そうは思わない」が44.4%となっており、離婚には消極的な結果となっています。

【問15】男女共同参画に関する、次の言葉を知っていますか。(各項目1つ)

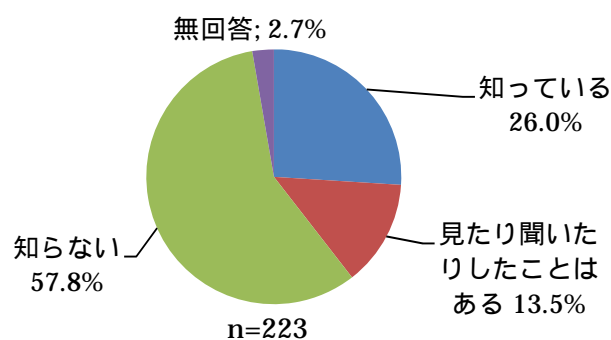
(1 = 知っている、2 = 見たり聞いたりしたことはある、3 = 知らない)

質問項目	回答欄		
1. 男女共同参画社会 1	1	2	3
2. さがみはら男女共同参画推進条例	1	2	3
3. 第2次さがみはら男女共同参画プラン 2 1	1	2	3
4. 「ともに」(男女共同参画社会の実現をめざす情報誌)	1	2	3
5. ソレイユさがみ(市立男女共同参画推進センター)	1	2	3
6. 配偶者暴力相談支援センター	1	2	3
7. 男女共同参画社会基本法	1	2	3
8. 男女雇用機会均等法	1	2	3
9. 育児・介護休業法	1	2	3
10. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	1	2	3
11. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
12. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別) 2	1	2	3
13. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) 3	1	2	3
14. ポジティブ・アクション(積極的改善措置) 4	1	2	3
15. マタニティ・ハラスメント 5	1	2	3
16. パタニティ・ハラスメント 6	1	2	3

問15-1

選択肢	回答数	回答分布
1	58	26.0%
2	30	13.5%
3	129	57.8%
無回答	6	2.7%
合計	223	100%

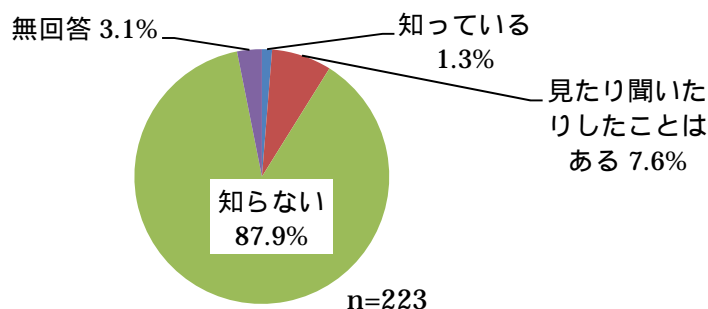
男女共同参画社会



問15-2

選択肢	回答数	回答分布
1	3	1.3%
2	17	7.6%
3	196	87.9%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

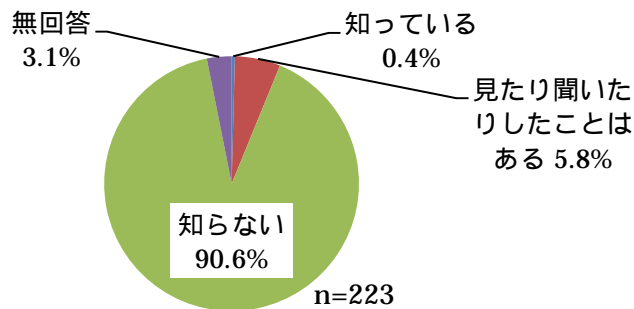
さがみはら男女共同参画推進条例



問15-3

選択肢	回答数	回答分布
1	1	0.4%
2	13	5.8%
3	202	90.6%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

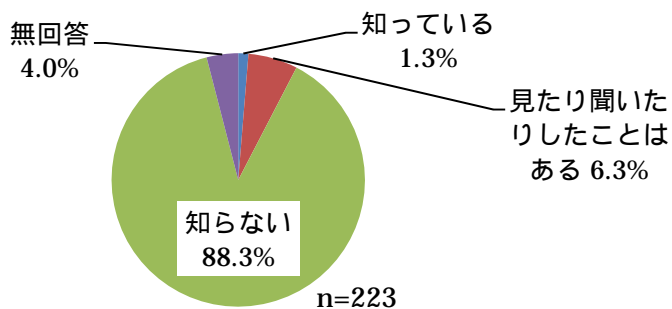
第2次さがみはら男女共同参画プラン21



問15-4

選択肢	回答数	回答分布
1	3	1.3%
2	14	6.3%
3	197	88.3%
無回答	9	4.0%
合計	223	100%

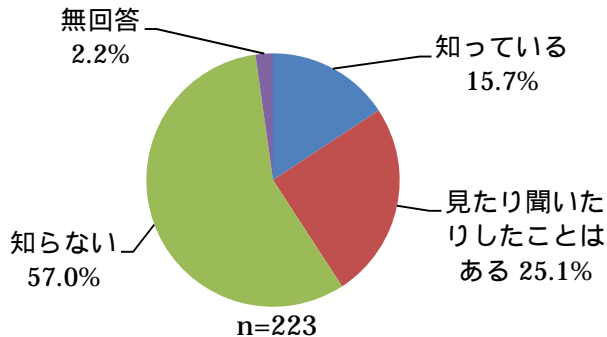
「ともに」
(男女共同参画社会の実現をめざす情報誌)



問15-5

選択肢	回答数	回答分布
1	35	15.7%
2	56	25.1%
3	127	57.0%
無回答	5	2.2%
合計	223	100%

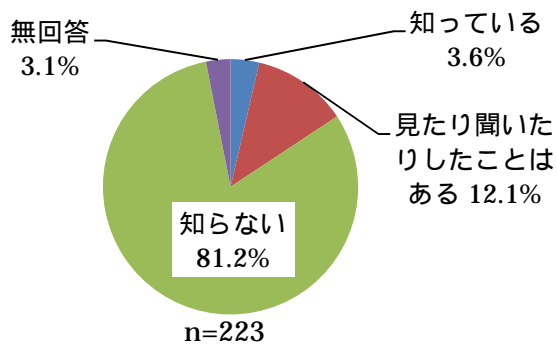
ソレイユさがみ
(市立男女共同参画推進センター)



問15-6

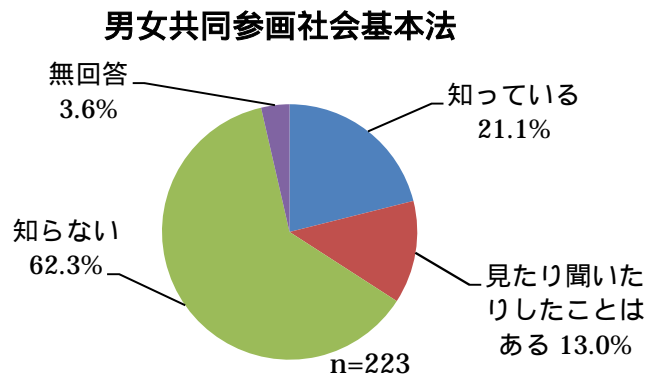
選択肢	回答数	回答分布
1	8	3.6%
2	27	12.1%
3	181	81.2%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

配偶者暴力相談支援センター



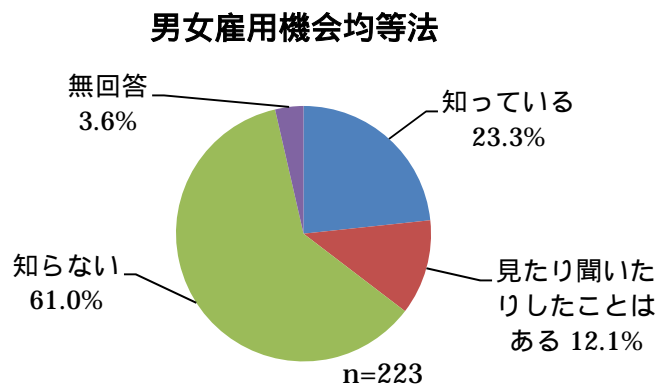
問15-7

選択肢	回答数	回答分布
1	47	21.1%
2	29	13.0%
3	139	62.3%
無回答	8	3.6%
合計	223	100%



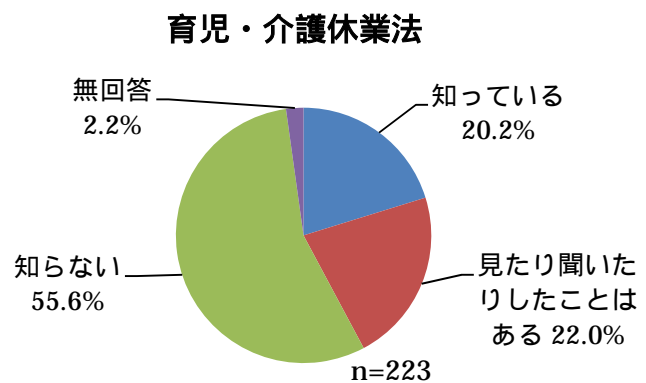
問15-8

選択肢	回答数	回答分布
1	52	23.3%
2	27	12.1%
3	136	61.0%
無回答	8	3.6%
合計	223	100%



問15-9

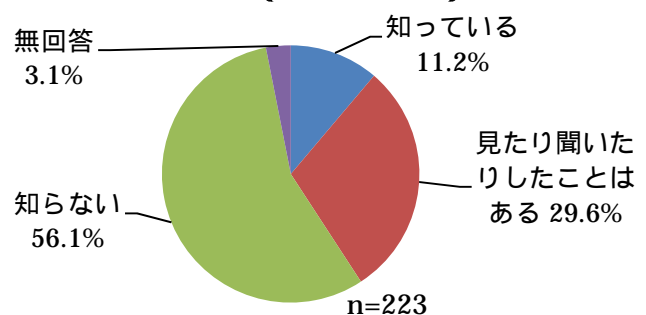
選択肢	回答数	回答分布
1	45	20.2%
2	49	22.0%
3	124	55.6%
無回答	5	2.2%
合計	223	100%



問15-10

選択肢	回答数	回答分布
1	25	11.2%
2	66	29.6%
3	125	56.1%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

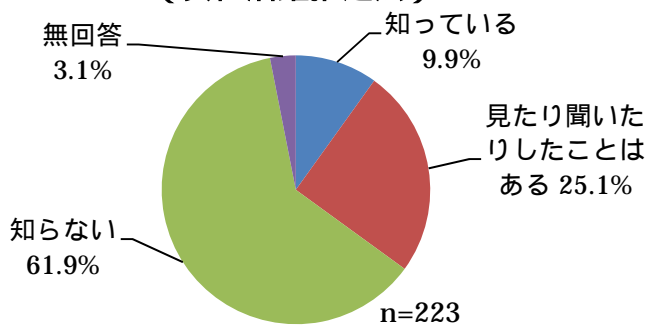
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）



問15-11

選択肢	回答数	回答分布
1	22	9.9%
2	56	25.1%
3	138	61.9%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

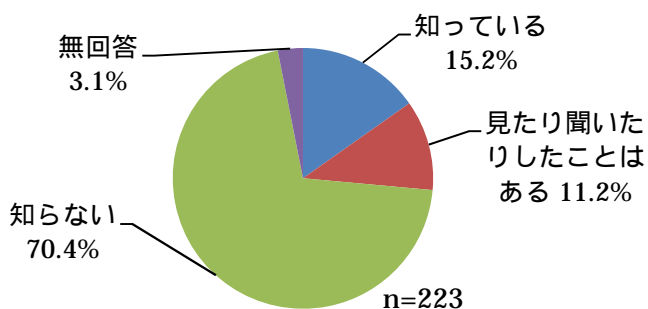
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律
(女性活躍推進法)



問15-12

選択肢	回答数	回答分布
1	34	15.2%
2	25	11.2%
3	157	70.4%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

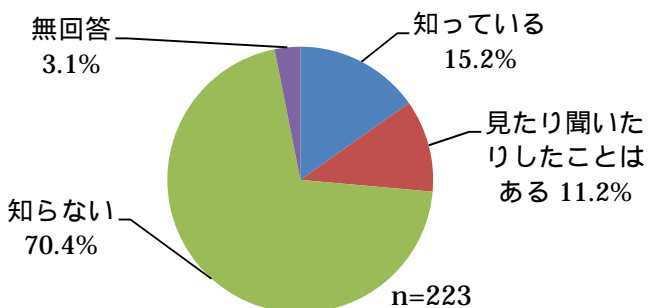
ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)



問15-13

選択肢	回答数	回答分布
1	33	14.8%
2	19	8.5%
3	164	73.5%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

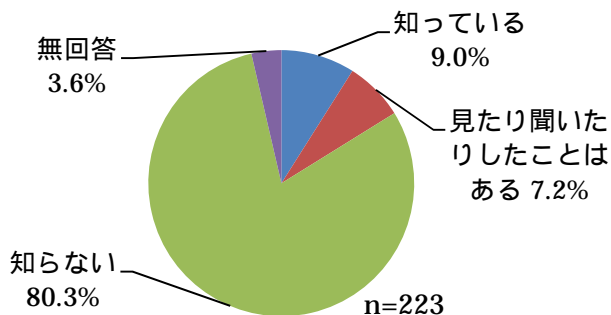
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



問15-14

選択肢	回答数	回答分布
1	20	9.0%
2	16	7.2%
3	179	80.3%
無回答	8	3.6%
合計	223	100%

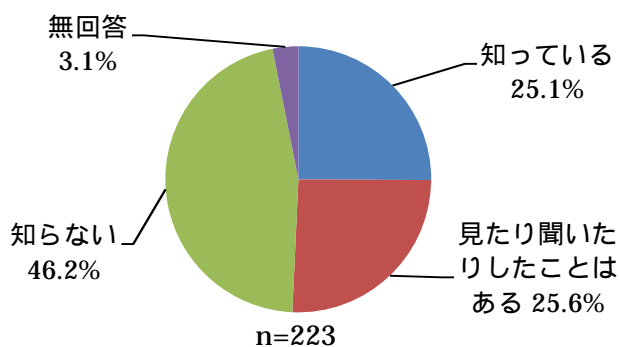
ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



問15-15

選択肢	回答数	回答分布
1	56	25.1%
2	57	25.6%
3	103	46.2%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

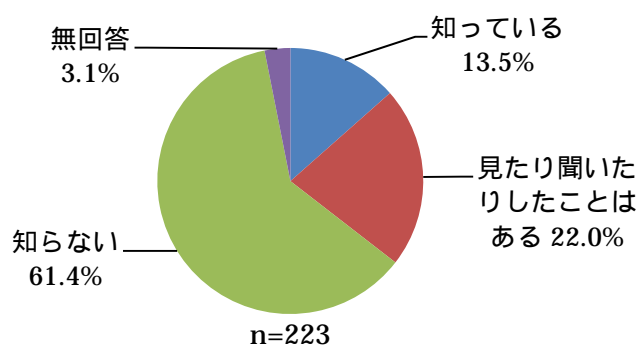
マタニティ・ハラスメント



問15-16

選択肢	回答数	回答分布
1	30	13.5%
2	49	22.0%
3	137	61.4%
無回答	7	3.1%
合計	223	100%

パタニティ・ハラスメント

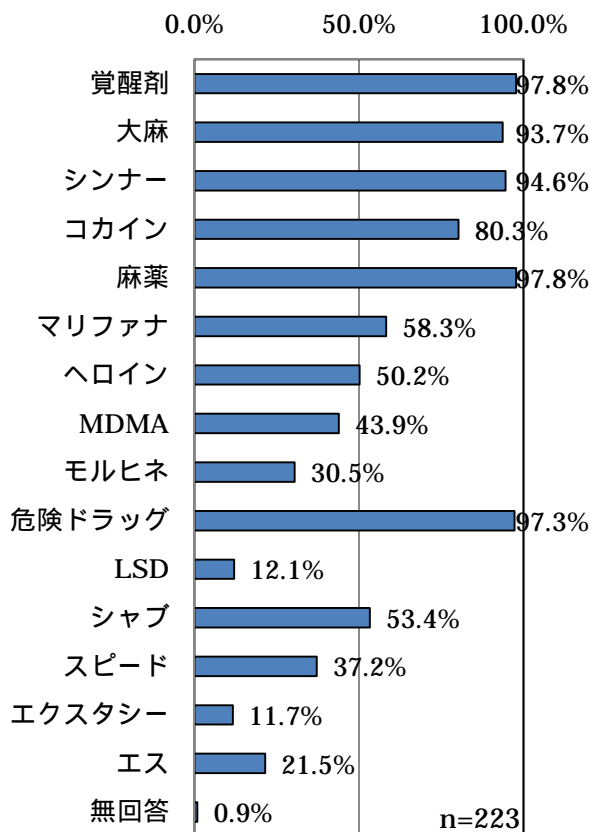


【薬物乱用防止についてお聞きします】

【問16】 次のうち、あなたが聞いた事のある薬物はどれですか。（複数回答可）

1. 覚醒剤	2. 大麻	3. シンナー	4. コカイン	5. 麻薬
6. マリファナ	7. ヘロイン	8. MDMA	9. モルヒネ	10. 危険ドラッグ
11. LSD	12. シャブ	13. スピード	14. エクスタシー	15. エス

選択肢	回答数	回答分布
1	218	97.8%
2	209	93.7%
3	211	94.6%
4	179	80.3%
5	218	97.8%
6	130	58.3%
7	112	50.2%
8	98	43.9%
9	68	30.5%
10	217	97.3%
11	27	12.1%
12	119	53.4%
13	83	37.2%
14	26	11.7%
15	48	21.5%
無回答	2	0.9%

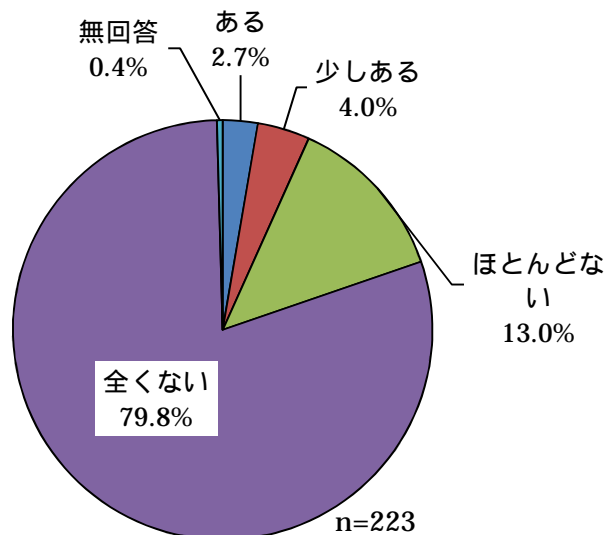


聞いた事のある薬物についての上位3項目は、「覚醒剤」と「麻薬」が97.8%で最も多く、次いで「危険ドラッグ」が97.3%、「シンナー」が94.6%という結果となりました。

【問17】 あなたは薬物について興味がありますか。（回答は1つ）

1. ある	2. 少しある	3. ほとんどない	4. 全くない
-------	---------	-----------	---------

選択肢	回答数	回答分布
1	6	2.7%
2	9	4.0%
3	29	13.0%
4	178	79.8%
無回答	1	0.4%
合計	223	100.0%

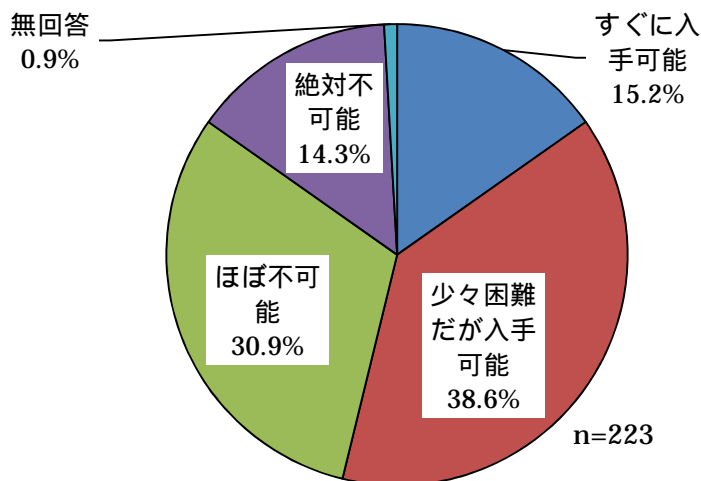


薬物についての興味については、「ある」「少しある」の合計6.7%に対し、「ほとんどない」「全くない」の合計は92.8%という結果となりました。

【問18】あなたは薬物を入手するのはどのぐらいの難易度だと思いますか。(回答は1つ)

1. すぐに入手可能 2. 少々困難だが入手可能 3. ほぼ不可能 4. 絶対不可能

選択肢	回答数	回答分布
1	34	15.2%
2	86	38.6%
3	69	30.9%
4	32	14.3%
無回答	2	0.9%
合計	223	100.0%



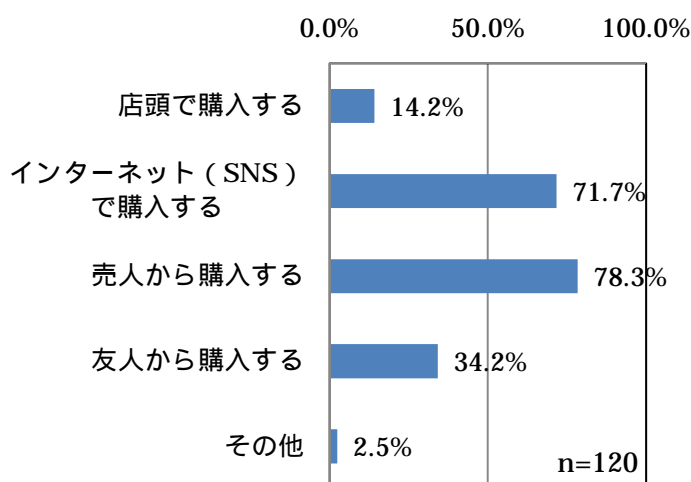
薬物を入手する難易度については、「すぐに入手可能」「少々困難だが入手可能」が合わせて53.8%という結果となりました。

《問18で、「1. すぐに入手可能」または「2. 少々困難だが入手可能」とお答えの方へ》

【問18-1】あなたは、どの方法であれば薬物を入手できると思いますか。(複数回答可)

1. 店頭で購入する 2. インターネット(SNS)で購入する
3. 売人から購入する 4. 友人から購入する 5. その他

選択肢	回答数	回答分布
1	17	14.2%
2	86	71.7%
3	94	78.3%
4	41	34.2%
5	3	2.5%



薬物の入手方法についての上位3項目は、「売人から購入する」が78.3%で最も多く、次いで「インターネット(SNS)で購入する」が71.7%、「友人から購入する」が34.2%という結果となりました。

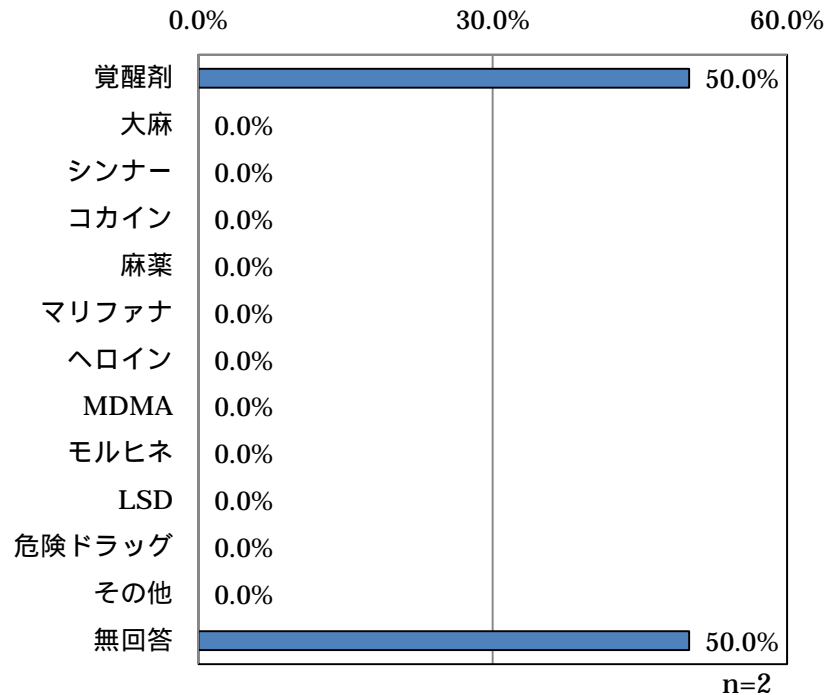
《問19で、「1.いる」とお答えの方へ》

【問19-2】あなたの身近で薬物を使用した人は、どのような薬物を使用していましたか。

(複数回答可)

1. 覚醒剤	2. 大麻	3. シンナー	4. コカイン	5. 麻薬
6. マリファナ	7. ヘロイン	8. MDMA	9. モルヒネ	10. LSD
11. 危険ドラッグ	12. その他			

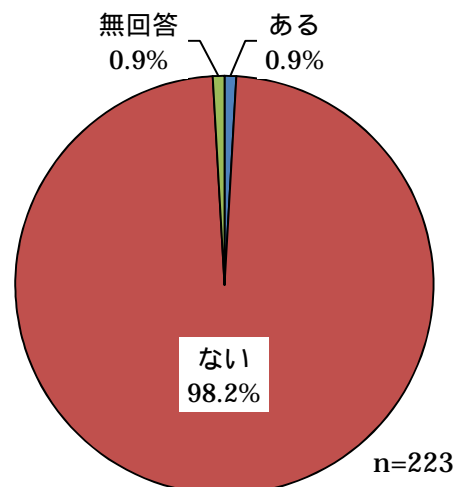
選択肢	回答数	回答分布
1	1	50.0%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	0	0.0%
7	0	0.0%
8	0	0.0%
9	0	0.0%
10	0	0.0%
11	0	0.0%
12	0	0.0%
無回答	1	50.0%



【問20】あなたは薬物の使用を誘われた経験がありますか。(回答は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

選択肢	回答数	回答分布
1	2	0.9%
2	219	98.2%
無回答	2	0.9%
合計	223	100.0%



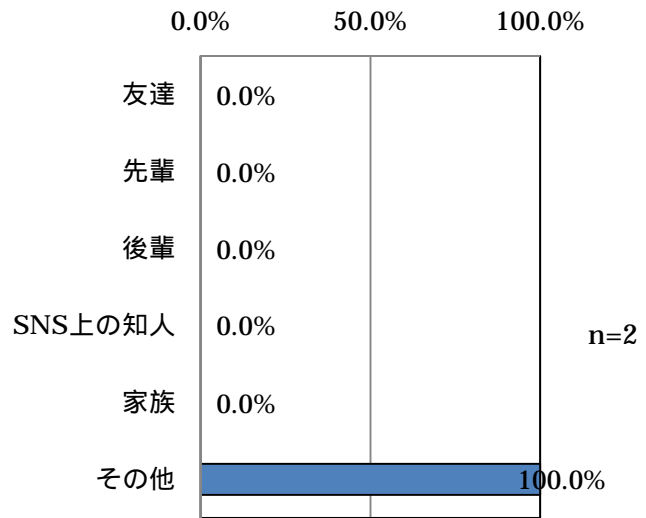
薬物の使用を誘われた経験については、「ある」が0.9%に対し、「ない」が98.2%という結果となりました。

《問20で、「1.ある」とお答えの方へ》

【問20-1】薬物の使用を誘った人は、あなたとどのような関係ですか。(複数回答可)

1. 友達 2. 先輩 3. 後輩 4. SNS上の知人 5. 家族 6. その他

選択肢	回答数	回答分布
1	0	0.0%
2	0	0.0%
3	0	0.0%
4	0	0.0%
5	0	0.0%
6	2	100.0%



問20-1 「その他」回答記入欄意見

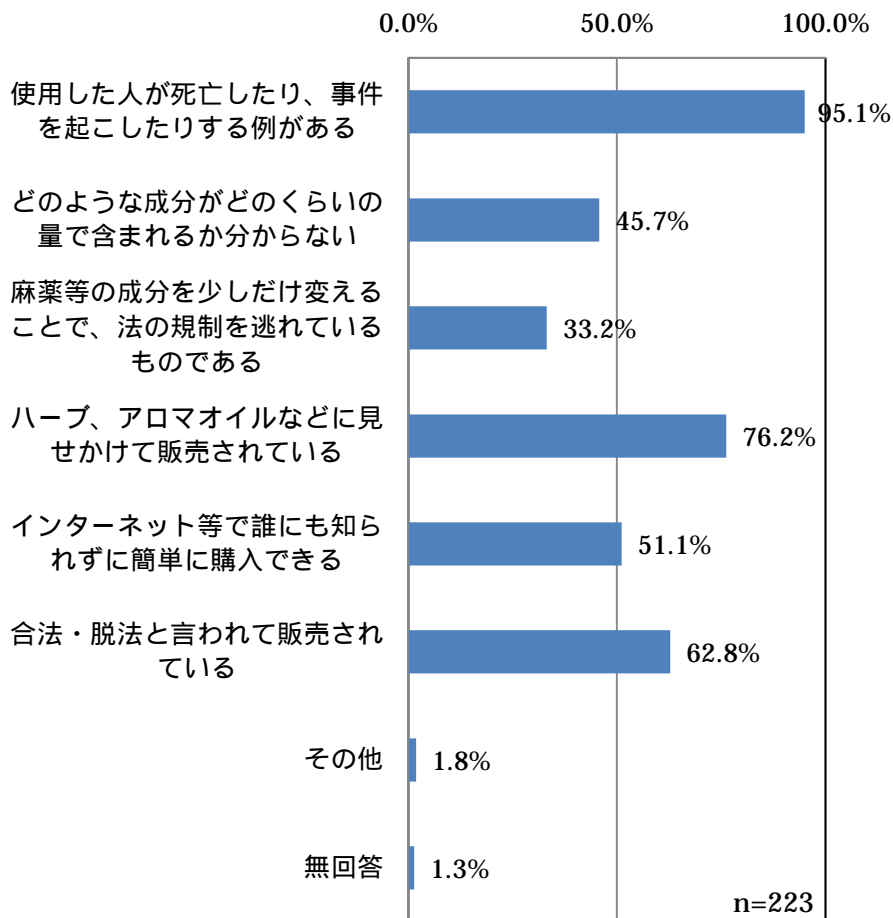
知らない人

街で話しかけられた

【問 2 1】あなたが危険ドラッグについて知っている事は何ですか。(複数回答可)

1. 使用した人が死亡したり、事件を起こしたりする例がある
2. どのような成分がどのくらいの量で含まれるか分からない
3. 麻薬等の成分を少しだけ変えることで、法の規制を逃れているものである
4. ハーブ、アロマオイルなどに見せかけて販売されている
5. インターネット等で誰にも知られずに簡単に購入できる
6. 合法・脱法と言われて販売されている
7. その他

選択肢	回答数	回答分布
1	212	95.1%
2	102	45.7%
3	74	33.2%
4	170	76.2%
5	114	51.1%
6	140	62.8%
7	4	1.8%
無回答	3	1.3%



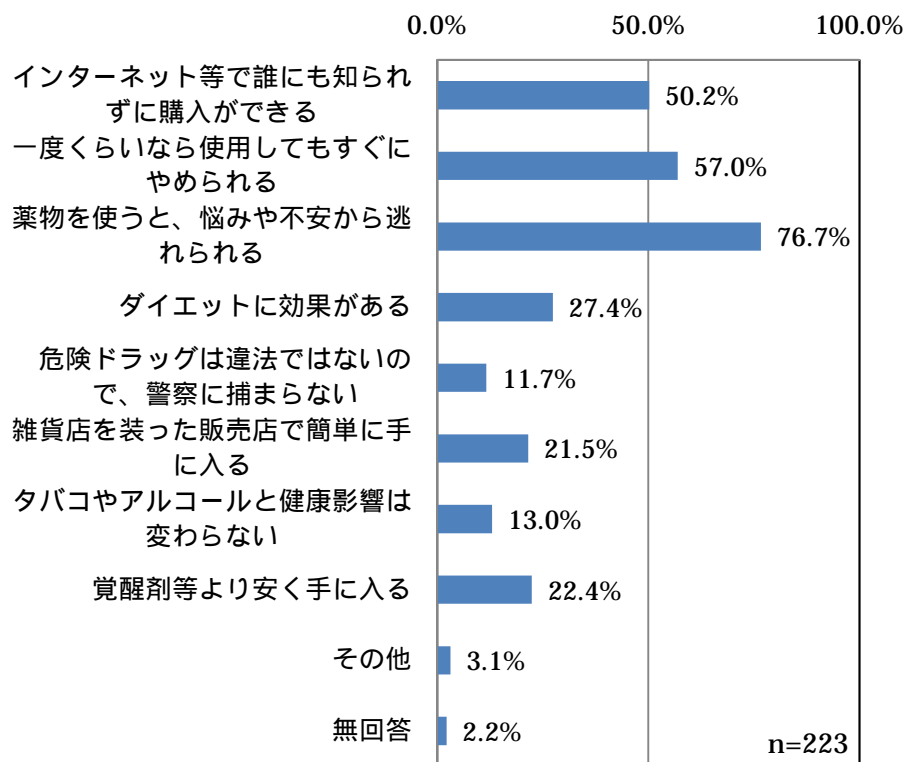
危険ドラッグについて知っている事の上位 3 項目は、「使用した人が死亡したり、事件を起こしたりする例がある」が 95.1%で最も多く、次いで「ハーブ、アロマオイルなどに見せかけて販売されている」が 76.2%、「合法・脱法と言われて販売されている」が 62.8%という結果となりました。

【問22】若者を中心に危険ドラッグを使用して、事件や事故につながる事例が発生しています。危険ドラッグに手を出してしまう背景は何だと思いませんか。

あなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

- 1. インターネット等で誰にも知られずに購入ができる
- 2. 一度くらいなら使用してもすぐにやめられる
- 3. 薬物を使うと、悩みや不安から逃れられる
- 4. ダイエットに効果がある
- 5. 危険ドラッグは違法ではないので、警察に捕まらない
- 6. 雑貨店を装った販売店で簡単に手に入る
- 7. タバコやアルコールと健康影響は変わらない
- 8. 覚醒剤等より安く手に入る
- 9. その他

選択肢	回答数	回答分布
1	112	50.2%
2	127	57.0%
3	171	76.7%
4	61	27.4%
5	26	11.7%
6	48	21.5%
7	29	13.0%
8	50	22.4%
9	7	3.1%
無回答	5	2.2%

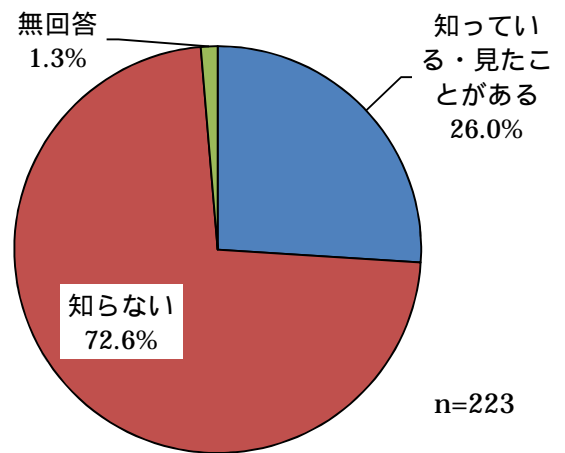


危険ドラッグに手を出してしまう背景についての上位3項目は、「薬物を使うと、悩みや不安から逃れられる」が76.7%と最も多く、次いで「一度くらいなら使用してもすぐにやめられる」が57.0%、「インターネット等で誰にも知られずに購入ができる」が50.2%という結果となりました。

【問23】あなたは相模原市で行っている薬物乱用防止啓発街頭キャンペーンを知っているもしくは見たことがありますか。(回答は1つ)

1. 知っている・見たことがある 2. 知らない

選択肢	回答数	回答分布
1	58	26.0%
2	162	72.6%
無回答	3	1.3%
合計	223	100.0%



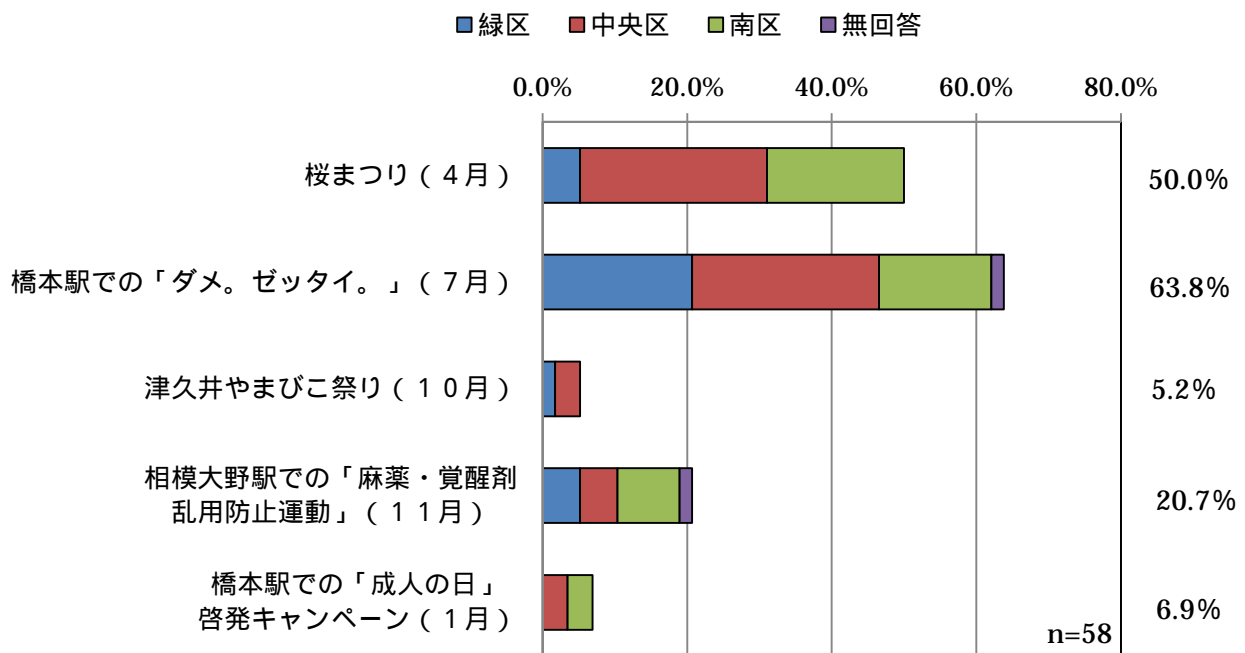
相模原市で行っている薬物乱用防止啓発街頭キャンペーンを知っているかどうかについては、「知っている・見たことがある」が26.0%に対し、「知らない」が72.6%という結果となりました。

《問23で、「1.知っている・見たことがある」とお答えの方へ》

【問23 - 1】あなたは相模原市内のどの薬物乱用防止啓発街頭キャンペーンを知っているか、見たことがありますか。(複数回答可)

- 1. 桜まつり(4月)
- 2. 橋本駅での「ダメ。ゼッタイ。」(7月)
- 3. 津久井やまびこ祭り(10月)
- 4. 相模大野駅での「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」(11月)
- 5. 橋本駅での「成人の日」啓発キャンペーン(1月)

選択肢	回答数					回答分布				
	緑区	中央区	南区	無回答	計	緑区	中央区	南区	無回答	計
1	3	15	11	0	29	5.2%	25.9%	19.0%	0.0%	50.0%
2	12	15	9	1	37	20.7%	25.9%	15.5%	1.7%	63.8%
3	1	2	0	0	3	1.7%	3.4%	0.0%	0.0%	5.2%
4	3	3	5	1	12	5.2%	5.2%	8.6%	1.7%	20.7%
5	0	2	2	0	4	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	6.9%



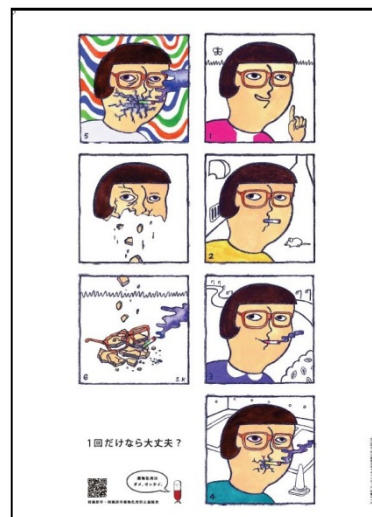
相模原市内のどの薬物乱用防止啓発街頭キャンペーンを知っているかについての上位3項目は、「橋本駅での「ダメ。ゼッタイ。」(7月)」が63.8%で最も多く、次いで「桜まつり(4月)」が50.0%、相模大野駅での「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」(11月)が20.7%という結果となりました。

薬物乱用防止関連の情報が掲載されている中で、知っているサイト・ページについての上位3項目は、「薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」ホームページ」が56.7%で最も多く、次いで「相模原市の「薬物乱用防止」ページ」が53.3%、「You Tube」が40.0%という結果となりました。

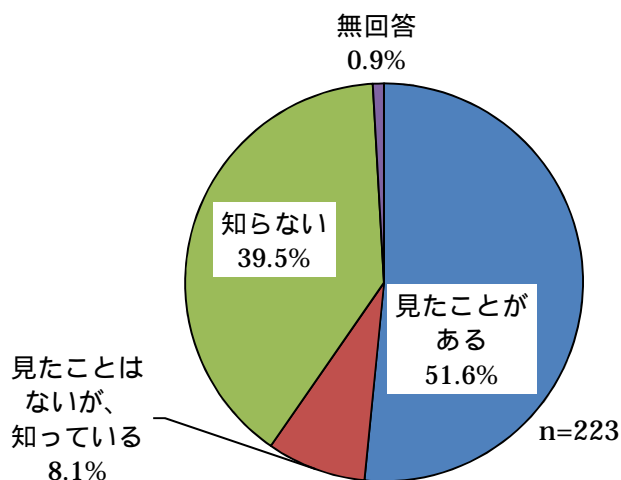
【問25】あなたは、相模原市が作成した薬物乱用防止啓発ポスターを見たことがありますか。

(回答は1つ)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 見たことがある | 2. 見たことはないが、知っている |
| 3. 知らない | |



選択肢	回答数	回答分布
1	115	51.6%
2	18	8.1%
3	88	39.5%
無回答	2	0.9%
合計	223	100.0%



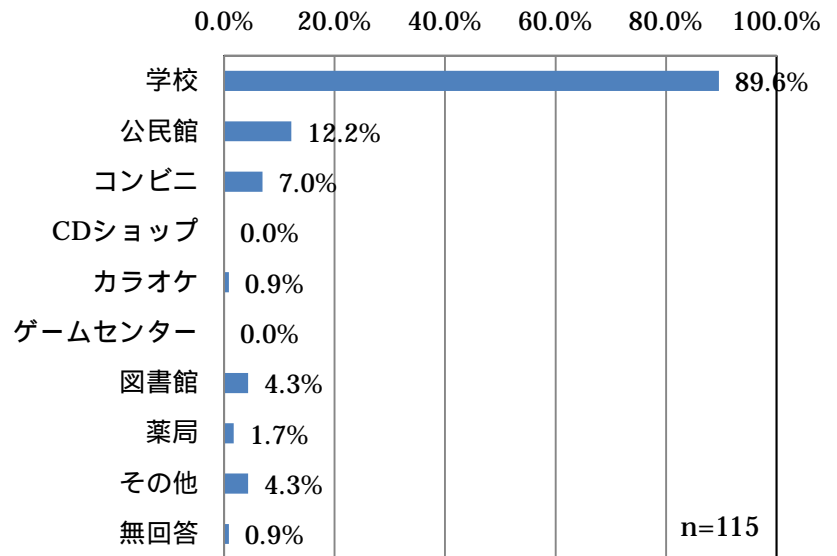
相模原市が作成した薬物乱用防止啓発ポスターを見たことがあるかについては、「見たことがある」「見たことはないが、知っている」が合わせて59.7%という結果となりました。

《問25で、「1.見たことがある」とお答えの方へ》

【問25-1】あなたは、どこで薬物乱用防止啓発ポスターを見ましたか。(複数回答可)

1. 学校 2. 公民館 3. コンビニ 4. CDショップ 5. カラオケ
6. ゲームセンター 7. 図書館 8. 薬局 9. その他

選択肢	回答数	回答分布
1	103	89.6%
2	14	12.2%
3	8	7.0%
4	0	0.0%
5	1	0.9%
6	0	0.0%
7	5	4.3%
8	2	1.7%
9	5	4.3%
無回答	1	0.9%



薬物乱用防止啓発ポスターを見た場所についての上位3項目は、「学校」が89.6%で最も多く、次いで「公民館」が12.2%、「コンビニ」が7.0%という結果となりました。

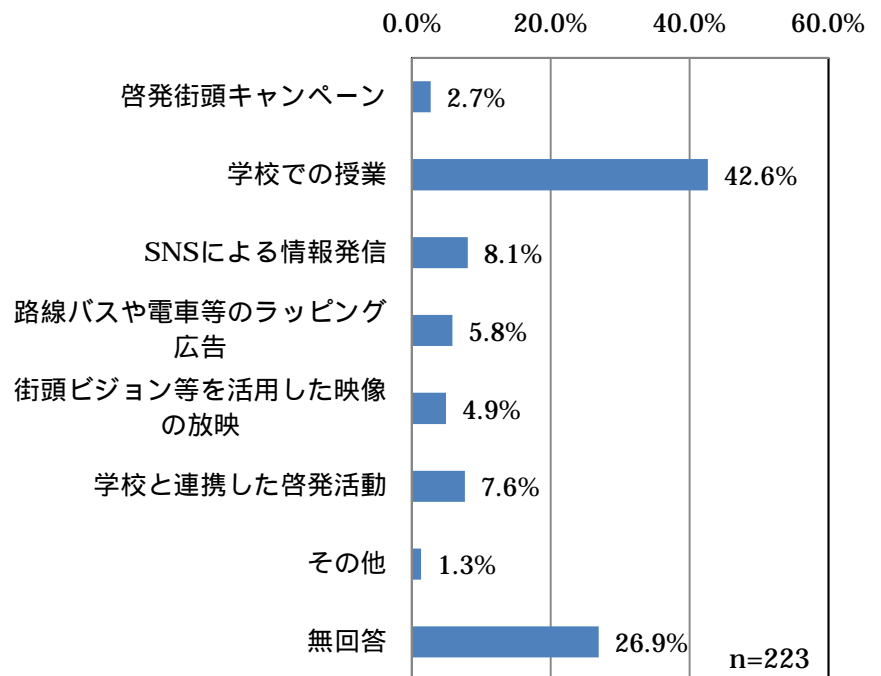
問25-1 「その他」回答記入欄意見

- インターネット
- 町の掲示板
- 飲食店
- 学童

【問26】あなたはどのような薬物乱用防止啓発を行うと最も効果があると思いますか。（回答は1つ）

- | | | |
|---------------------|----------------------|---------------|
| 1. 啓発街頭キャンペーン | 2. 学校での授業 | 3. SNSによる情報発信 |
| 4. 路線バスや電車等のラッピング広告 | 5. 街頭ビジョン等を活用した映像の放映 | |
| 6. 学校と連携した啓発活動 | 7. その他 | |

選択肢	回答数	回答分布
1	6	2.7%
2	95	42.6%
3	18	8.1%
4	13	5.8%
5	11	4.9%
6	17	7.6%
7	3	1.3%
無回答	60	26.9%
合計	223	100.0%



どのような薬物乱用防止啓発を行うと最も効果があると思うかについての上位3項目は、「学校での授業」が42.6%と最も多く、次いで「SNSによる情報発信」が8.1%、「学校と連携した啓発活動」が7.6%という結果となりました。

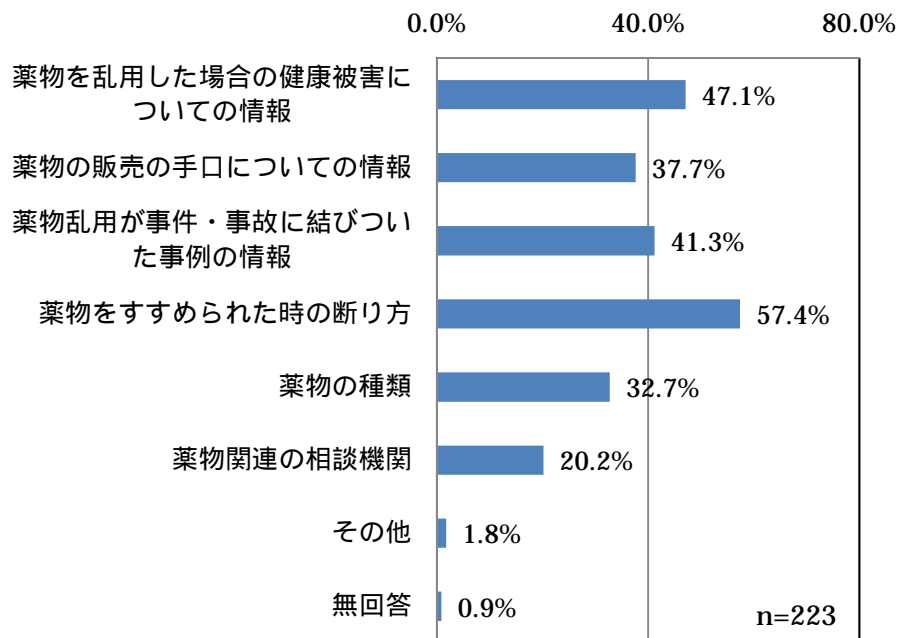
問26 「その他」回答記入欄意見

- 擬人化ゲーム
- ネット監視
- AC ジャパンでのCM

【問 2 7】薬物乱用防止について知りたいことはありますか。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 薬物を乱用した場合の健康被害についての情報 | 2. 薬物の販売の手口についての情報 |
| 3. 薬物乱用が事件・事故に結びついた事例の情報 | 4. 薬物をすすめられた時の断り方 |
| 5. 薬物の種類 | 6. 薬物関連の相談機関 |
| | 7. その他 |

選択肢	回答数	回答分布
1	105	47.1%
2	84	37.7%
3	92	41.3%
4	128	57.4%
5	73	32.7%
6	45	20.2%
7	4	1.8%
無回答	2	0.9%



薬物乱用防止について知りたいことについての上位3項目は、「薬物をすすめられた時の断り方」が57.4%と最も多く、次いで「薬物を乱用した場合の健康被害についての情報」が47.1%、「薬物乱用が事件・事故に結びついた事例の情報」が41.3%という結果となりました。

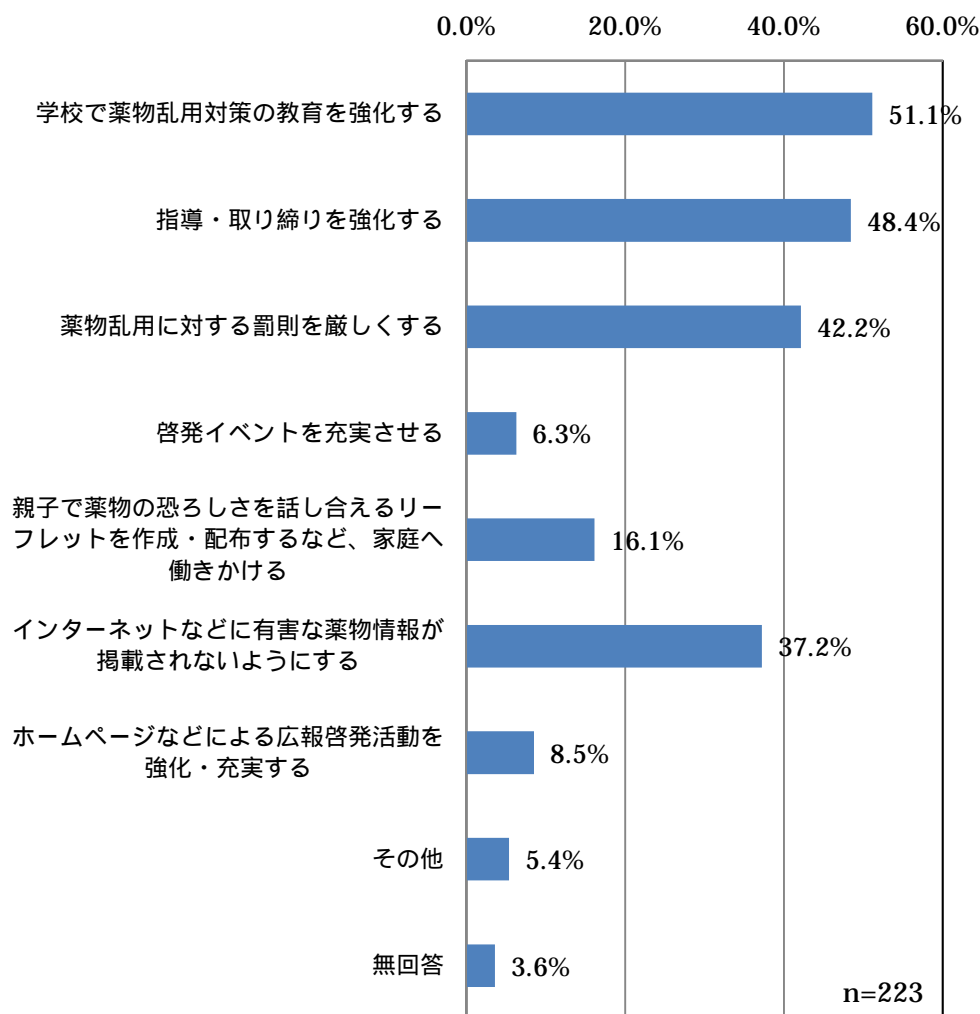
問 2 7 「その他」回答記入欄意見

- とくにない
- 薬物に興味が無い

【問28】薬物乱用を社会からなくすために、あなたが今後特に行政に力を入れて欲しいと思う対策は何ですか。(回答は3つまで)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 学校で薬物乱用対策の教育を強化する | 2. 指導・取り締りを強化する |
| 3. 薬物乱用に対する罰則を厳しくする | 4. 啓発イベントを充実させる |
| 5. 親子で薬物の恐ろしさを話し合えるリーフレットを作成・配布するなど、家庭へ働きかける | |
| 6. インターネットなどに有害な薬物情報が掲載されないようにする | |
| 7. ホームページなどによる広報啓発活動を強化・充実する | |
| 8. その他() | |

選択肢	回答数	回答分布
1	114	51.1%
2	108	48.4%
3	94	42.2%
4	14	6.3%
5	36	16.1%
6	83	37.2%
7	19	8.5%
8	12	5.4%
無回答	8	3.6%



薬物乱用を社会からなくすために、今後特に行政に力を入れて欲しいと思う対策についての上位3項目は、「学校で薬物乱用対策の教育を強化する」が51.1%と最も多く、次いで「指導・取り締りを強化する」が48.4%、「薬物乱用に対する罰則を厳しくする」が42.2%という結果となりました。

問28 「その他」回答記入欄意見

テレビなどでよく説明する

乱用を行った人も同じ事をしてしまった人達との話し合いをする

薬物に手を出してしまった方の話

テレビのCM

薬物乱用が起きるような社会環境を改善する

多少ショッキングな映像を見せてもよいと思う

(身体に虫がたくさんついているように見える幻覚の本人視点とか)

学校生活などで悩みや不安をつくらせない環境をつくり、薬物に頼らなくて良いようにする

キャンペーンなど

もし使ってしまった際の更生機関の設置

【問29】その他、アンケート内容等についてのご意見などがありましたら記入してください。

アンケート全体として

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 生徒全員にアンケートを取った方が良い。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 認知度調査は、生徒全員に対して行ったほうが良い。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 内容が難しく、記入するのに時間がかかった。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ あまり知らない単語ばかりだった。そして、知らないことが怖いと思った。
DVも薬物も若い人というか、ほとんどの人は「犯罪」というボーダーラインがあいまいなのではないかと思った。「自分は巻き込まれないから」という考えはきっと誰にでもあって、法律とかを学ぼうとしない、興味がない人が多いのだと思う。
正直、私も「悪いことをしたら犯罪」ぐらいのイメージで、その「悪いこと」の区別は細かくできないと思うので、このアンケートの結果は大きく扱ってほしい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ このようなアンケートをもっとおこなった方がいい。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 今回、このアンケートを受けて、薬物やDVなど、自分には起こらないと思っていても、いきなり身近になってしまうこともあるのかなと感じた。自分の意見を主張する力が大切だと思う。今の若い人は、自分を内に仕舞い込んで人に伝えようとしないので、「人に伝える力」「恥ずかしがらない」ことも重要だと思った。 |

<ul style="list-style-type: none"> このアンケートの暴力と薬物についてですが、こういうのは親が教育すれば良い話なので、今の時代の子供たち（自分自身も）が将来親になると思いますが、そういう責任をしっかりとつことを教育していけば、今後も減っていくと思う。子供は親の姿を見て育つので、小さなことから気をつけなければなりません。こういう教育は平和ということにも繋がっていくと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 薬物もDVもよくないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> デートはお互いが楽しいなと思えるような環境であってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 全国のどの市にも負けない、身近なものを強化し、日本一の市をつくりあげてほしい。（例：あいさつの町、交通事故が少ない町、いと楽しい町、協力の町など）市で一番誇れるものなどでも良い。最近テレビで事故や事件でよく相模原という言葉聞くので、安全・安心の町を作り上げていくのもよい。相模原のキャラクターの活動を活発にし、相模原の良さを全国にアピールし好印象にしましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 事業が多すぎると、人の目にふれることがあったとしてもあまり記憶にのこらないと思うので、少しずつ一つ一つやっていくといいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 学校ともっと連携してほしい。

デートDVについて

<ul style="list-style-type: none"> DVなどを学校生活と比較して質問してくれるともっと分かりやすい。
<ul style="list-style-type: none"> 問7に対して、暴力をふるって言う事をきかせようということが愚かだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 話だけでは治らないと思う。

男女共同参画について

<ul style="list-style-type: none"> 結婚したら男性が働いて女性が家事という考えは、職業によっては未だ女性が輝ける環境ではないから家事に専念してしまうのだと思う。少しずつ変わってきているが、男女共同参画社会などは建前で、そこまでのことができていない。パワハラ、モラハラ、セクハラ会社であって、そういうことが多いから女性は輝けない。大きな取組をすべき。例えば、女性だけの会社を創るとか。そうすれば変わると思う。

<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーに関しては、今の年配の方たちから若者に世代が代われれば少しは減ると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 男性と立場を同じにするために女性のみに対する対応をしたら、それこそ男女平等ではなくなってしまう。

《薬物乱用防止について》

<ul style="list-style-type: none"> 薬物の規制を厳しくしてください
<ul style="list-style-type: none"> 防止講演会の回数を増やしてください
<ul style="list-style-type: none"> パトロールなどをしてください
<ul style="list-style-type: none"> インターネットを見る人は少ないかと思うので、バス停や駅にポスターを貼り、イベントを活発にすればこれからの日本の薬物乱用者が少なくなると思います。 そして、桜まつりや上溝まつりなどの相模原で行われる祭りの一角でコーナーをつくれば、薬物の恐ろしさが分かり良くなると思います。
<ul style="list-style-type: none"> 薬物の恐ろしさがわかるように具体的に書いた方が良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 何故、薬物がダメなのか、健康面以外の情報もきちんと載せるべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 薬物の恐ろしさがわかるように具体的に書いた方が良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> アンケートとは別に、薬物やDVについての冊子(パンフレット)などを添付したらどうでしょう？
<ul style="list-style-type: none"> 危険ドラッグ等についてもっと講演をした方がいいと思う
<ul style="list-style-type: none"> アンケートをすることで意識をさせることはいいと思う。 学校、地域と連携して薬物の恐ろしさなどを伝えた方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> 薬物は絶対にダメ！
<ul style="list-style-type: none"> 「1回だけ！」という気持ちが自分の人生を狂わせていく。
<ul style="list-style-type: none"> 薬物は危険です。

・ 問 25 で、でてきたポスターは、学校のろう下で見かけた時、目にとまりゾッとしました。薬物を使った後の恐怖が伝わりわかりやすいです。

・ アンケートをしながら私自身も薬物防止などについて考えられたので良かったです。

・ このアンケートによって一人一人の薬物に対する意識が高まると良いなと思います。

・ 薬物に手を出してしまう原因の1つとして、人生に対し絶望感がある人がその絶望から逃れたくて乱用するというのがあります。なので、人生に落胆している人の話を聞いてあげるサービスを増やし、子供だけの相談ダイヤルをつくるのではなく、大人も人とコミュニケーションをとれるような地域での交流会を増やしていくべきではないかと思います。1人ぼっちになる人を1人でも増やさないとDVや薬物を乱用したり、つくったりする人を減らすことにつながると思います。

・ 薬物乱用は、ストレスから手を出してしまっている人もいます。薬物乱用防止の活動は、とても良いことだと思いますが、こういった人が出ないように、学校などで生徒に向き合っていく必要があると思います。また、学校での薬物乱用防止の指導を行うとしても、不登校になっている生徒がいては、本当の意味での指導は行えないと思います。教育に関しては、本当に力をいれていくべきだと思います。

・ 薬物のことを注意しても、使用している人は話すら聞かないと思うので、日本の法律で厳しく海外の特定地域のように取り締まるべきだと思う。